

令和6年度丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金活動報告書

実施団体名	フリースクール「FRSCたんば」				
事業名称	フリースクール「FRSCたんば」不登校支援活動				
事業費	461,219円	補助金確定額	300,000円	実施場所	FRSCたんば教室他
事業目的	不登校の子どもや、高校を中退して引きこもってしまった若者など、生きづらさを抱えた子どもや若者の支援を目的とする。また、発達障害があり学校に行きづらい、学校の勉強がわからないと感じている子どもや高校を中退した通信制に通う高校生なども利用できるよう、学習面の支援をする。				
事業内容	○「FRSCたんば」の開講 ・毎週月・水・金曜日（午後）「フリースタディ、スタディサポート」 ・土曜日（午前・午後）eゲーム、工作教室、理科教室、料理教室、誕生日会等の実施 ・フリスクリン集の実施 ラーメン店、田植え・稲刈り体験、工作教室、キャンプ、映画会、クリスマス会、卒業お祝い会など ○不登校講演会 ○不登校ミニ学習会、交流会 ○フリスクリンスタッフ会議 ○フリスクリン通信No.21～25の発行				
事業の成果感想等	・学校ではほとんど喋らない子が、フリスクリンなら友だちやスタッフと普通に話したり笑ったりして、子どもたちが自分らしく過ごせている。子どもたちの安心安全な居場所になっていると感じる。 ・いろいろな事情から学校に行きづらいと感じている子どもたちが、フリスクリンでなら1対1の対応がしてもらえるので安心して過ごせているようである。 ・不登校や発達特性のある子どもの親が、フリスクリンのお楽しみ会や行事などに一緒に参加して、お互いに悩みを聴いたり、励ましあったりしている。また、同じように学校に行きづらいと感じている子どもの親が、わが子の不登校について電話で相談したり、保護者に紹介されてフリスクリンの見学に来られたりする方もあった。 ・フリスクリンを利用する親が、毎月1回開催される「不登校親の会」のグループ相談会に参加し、お互いに話し合ったり励まし合ったりしている。 ・「FRSCたんば」が地域の方に少しずつ知られてきて、子どもが不登校になった時、学校以外に安心して不登校相談できるところであり、不登校相談の電話が多い。フリスクリンスタッフとして、今後は不登校・教育相談をより充実させた取組みを進めていきたい。				
参加人数	フリスクリン利用 大人12、高校生1、中学生4、小学生以下5			合計	122人
	見学・体験学習等参加者 中学生4、小学生5				
	映画会、交流会、講演会等参加者92				
事業写真					
	ふりすくラーメン販売				
					
	特別体験教室「ミンミンゼミ作り」				
事業写真					
	ふりすくキャンプ				
					
	ふりすくクリスマス会				